

事務事業マネージメントシート

作成日 平成25年05月15日

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

| | | |
|---------|--|--|
| 目的妥当性評価 | ①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか? | <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 青少年の健全育成を推進する少年指導センターの役割は重要である。 |
| | ②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か? | <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 街頭指導、環境浄化、親と子の悩み相談を行う。 |
| | ③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか? | <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある すべての青少年を対象としている。 |
| 有効性評価 | ④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか? | <input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 少年指導センター活動の大きな役割を占める街頭指導の方法を十分検討し、効率的に実施している。 |
| | ⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? | <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 事業を廃止すると、青少年の健全育成に対する意識が希薄になり、非行が増大する恐れがある。 |
| | ⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか? | <input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない |
| | ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか? | <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない |
| 効率性評価 | ⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) | <input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の経費である。 |
| | ⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできぬか? (アウトソーシングなど) | <input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業の運営管理に関する最小限の経費である。 |
| 公平性評価 | ⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか? | <input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 全ての青少年の健全育成のための組織であり、受益者負担はない。 |

3. 改革・改善方向の部

| | | |
|--|---|------------------|
| (1) 改革の方向性（改革案・実行計画） | <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 繼続 | (3) 改革・改善による期待成果 |
| (2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？ | | |

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

| | | |
|---------------------------|---|------------------|
| (1) 1次評価結果の客觀性と出来具合 | <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える | (5) 改革・改善による期待成果 |
| (2) 2次評価者としての評価結果 | ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | |
| (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 | <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない） | |
| (4) その他2次評価会議で指摘された事項 | | |